

厚塗 スペイン本漆喰塗り壁 グラフェンストーン

室内用マニュアル色付 施工の前に

【色あり 標準カラー/特注カラー】 施工書

大きな流れ

- ・クロス/木部との境目処理
(アクトメール全面塗布)
見切り コーキング
- ・下地処理
パテ&メッシュ&パテ部分へアクトメール処理
- ・出隅/入隅/ボードカット部分へ メッシュテープ
- ・現場 : 塗膜厚み基準テープ貼る (目印) 養生として
- ・材作成 (現場にて)
 - ・4L 缶かくはん (無理な場合 ヘラまたは綺麗な棒で 大きなバケツへ入れる)
 - ・大きな缶へ入れる
 - ・粉混ぜる (約半分)
 - ・攪拌 2~3 分
 - ・水量測る ⇒加水
 - ・粉混ぜる
 - ・攪拌 約 3 分
 - ・15 分寝かせる
- ・塗布
 - 2 回塗り
 - *1 回目 1~1.5mm塗布 下地作り
(24 時間~48 時間乾燥
(アクトメール部分 特に乾きにくいです))
 - *2 回目 (仕上げ) : 2mm以上 3.5mm以下塗布
乾燥終了
 - 1 発塗り
4mm塗布&乾燥終了

1・境目処理

・木カウンターの境目

無垢カウンターの場合 塗壁後にカウンターを取り付けして頂けると木の収縮でひび割れ発生しにくくなります。無理な場合 木の収縮に対応可能なコーキングを刺して頂けると助かります

・クロスとの境目

クロス接合面 コーキング刺して頂けるとクロス収縮の割れに適応可能になります
す または見切りを御願ひします

*室内 クロスとの境目には フクビの見切りをお勧めします

・無垢木製縁との境目

*木製縁の場合もクロス同様 収縮に対応可能なコーキングを御願ひ致します

・ベニア 合板の上

合板の確実にヤニ吸収します、

アクドメールを必ず塗ってから グラフェンストーン塗布お願いします

カウンター ドア枠 樹種乾燥具合によって大丈夫ですが 十分ご注意ください

・V目地パテ処理&メッシュしてから パテの上にアクドメールで覆う

・ボードカットつなぎ目メッシュテープ貼る

2. 下地処理

1) 石膏ボード V溝ありを想定

クロス処理同様 V溝を市販パテ&メッシュを使用し平坦に処理

*仕上げ厚みの変化により 色ムラを抑える為



2) Mクロス / 段差のある場合も同様に「平坦」にする

色付グラフェンストーン 2回 &一発仕上げ

3-3) フジワラ化学 「アクドメール」を全面に塗布 約1日乾燥

*アクドメール限定



ホームセンター / ネット等で購入可能

4L 缶 約 20 m²塗布可能

これ以外を使用すると パテの色が発生します（ました）

***M クロス / ジュラク壁 / クロス下地 / マジック文字がある場合も**

4) 乾燥後 グラフェンストーン塗布作業へ

5) 塗布進行同時でも構いませんが、

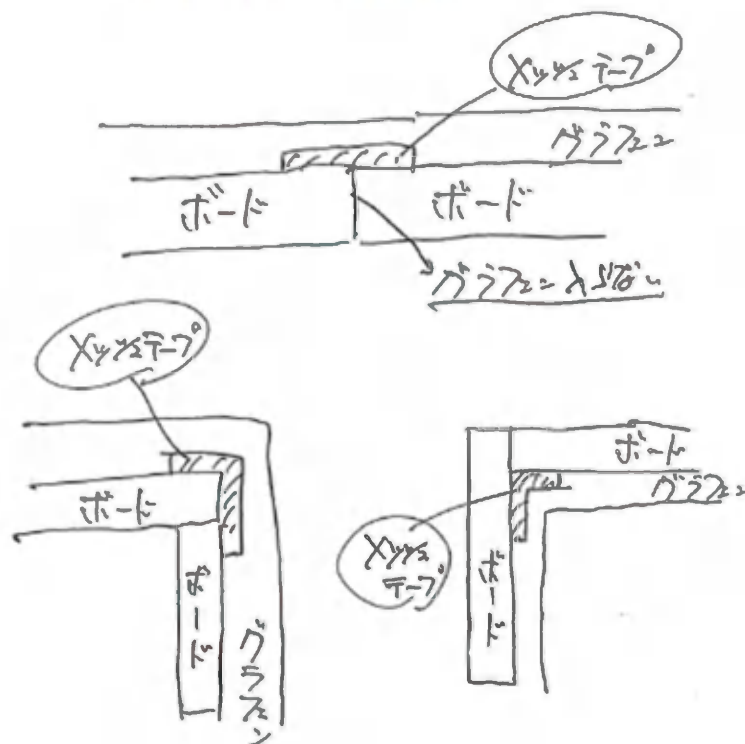
メッシュテープ貼ってください

- ・ボードカットつなぎ目
- ・入隅 出隅

貼り忘れは下地動き綺麗に線のように綺麗に割れます（ました）

#4 メッシュテープ貼る場所

メッシュテープ欲しい所



ボードカット目動く為

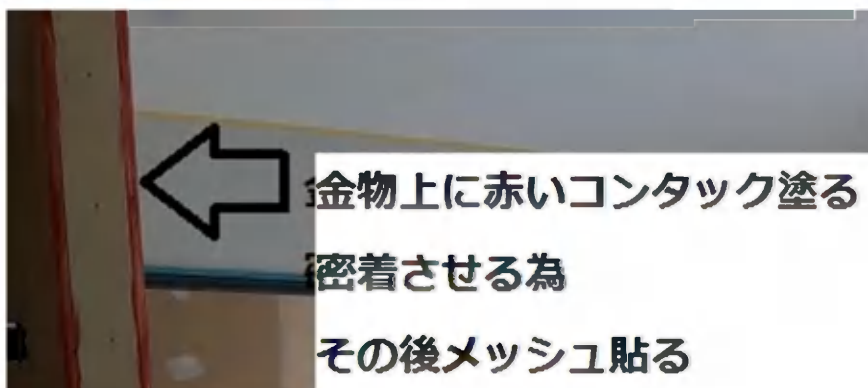
- ・入隅（カットボードつなぎ）：メッシュテープを貼ってください
 - ・出隅（カットボードつなぎ）：メッシュテープを貼ってください
 - ・カットボードつなぎ：メッシュテープを貼ってください
- *この部分動く可能性ありますので 確実に先にテープ貼ってください

◆入隅出隅に貼りたくない方がいますが、
貼らないと、引っ張りあい亀裂発生しますので
どうぞ貼ってください よろしくお願い致します



特殊下地（ツルツル）

出隅 入隅に R 金物がある場合



コンタック塗らないと 剥がれるので注意

5. 【現場厚み確認用 基準テープ貼り】

1) 厚み確認の為に 養生テープにて基準

塗り厚基準の為に 枠等にテープを貼り 3mm部分にテープ貼り



6. グラフェンストーン作成

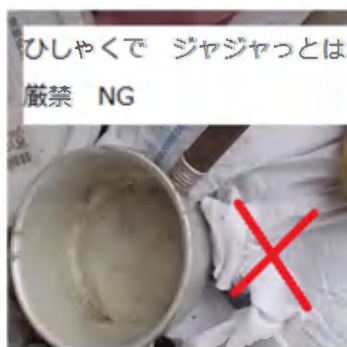
○道具 & 準備

- ・ペール缶攪拌用 小攪拌機（インパクト攪拌機） または綺麗な棒
- ・メッシュテープ
- ・四角金鏝（万能コテ小さいので大変です）
- ・アクドメール（下地合板 土壁 Mクロス クロス 汚れのひどい場所）
- ・コンタック（下地ツルツル用）別売り品
- ・計量カップ 1L～500mL

【重要項目】



計量カップ



（これで大丈夫だろう
と思うと失敗します）

6-1 加水 水の量（最重要項目 色に関係）

500mL 以下 厳守（割れ、ひび割れに繋がります）

水（H₂O）は、かくはんの為だけに使用します 水が多いと水を塗っている事になります。仕上げ後スカスカの塗り壁になりますのでご注意ください

*色の揺らぎの範囲内で 水多いと色薄くなります

*色の揺らぎの範囲内で 水少ないと色濃くなります

●下塗り 500mL

●仕上げ 300mL が塗るのが楽です



6-2 塗膜厚み 厚塗り厳守

乾燥後、総仕上げ 2mm～5mm厚み

*施工最中 2mm塗っても 1mm沈みます 乾燥後 1mmになります（水無くなる為）

- ・2回塗りの方 1回目 1～1.5mm以上塗ってください
2回目 2～3.5mm塗ってください
- ・1回塗りの方 4mm以上塗ってください

■乾燥後 仕上げ塗膜 1.5mm未満は （グラフェン技術低下）

*透けます

*割れ、ひび割れ発生します

例	最終乾燥後 例	施工時（合計）例
厚み	2～3mm	4mm

・水の量が多い または 薄過ぎる場合 グラフェンが無い状態と同じで割れます



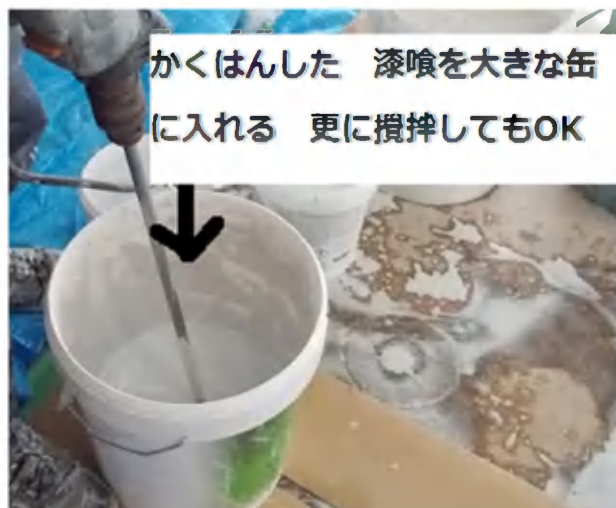
6-3 【 ペール缶を攪拌 と紙袋を混ぜて攪拌】

グラフェンストーン作成 (現場攪拌)

*4L ペール缶内の攪拌 (色下に沈殿しています) 約3分

綺麗な棒、または インパクト攪拌機使用

水を捨てずにペール缶内を攪拌します (結構かかります)



*石灰岩を 混ぜる (紙袋内)

石灰岩の袋を開けて 漆喰の入っている
大きな缶へ入れる



全部入れるとその後攪拌大変ですので 半分または 70%程度でも OK

【加水 0mL～500mL 重要】

複数缶あれば 必ず同じ加水量にしてください

水の量で色が変わります

A面は薄い / B面は濃い という事が発生してしまいます(した)

*攪拌を行う：ある程度になったら 最後の石灰岩を入れて、水 0mL～最大 500mL 入て
最後のかくはん

計量した水を、空いた4L缶に付着している漆喰を流しながら入れると効率が良い

水加減と攪拌は重要です 色ありの場合しっかり色を混ぜる為 攪拌は長めにお願いします 3分

水 500mL 入れてしまうと、仕上げデザインある場合やりにくくなります



おおよそ 5分攪拌

・完成後 10～15分寝かせるとなじみます



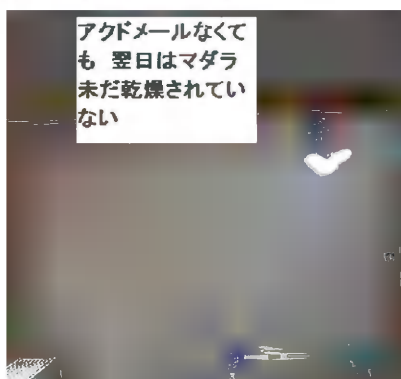
廻りに水が見える様ですと 水多い

7-1、1回目塗布 (2回塗り推奨)

(一発塗り仕上げの場合、感覚でかなり厚く塗布 4mm & 仕上げ御願ひ致します)」

塗膜 1～1.5mm程度 塗布 (乾燥後 0.5～1mm程度になります)

24 時間～48 時間乾燥 (水分蒸発させる) 気温/空気の流によって乾燥時間変わります
色物乾燥時間かかります



7-2 2回目 (仕上げ) 乾燥後

- 1) 乾燥後 仕上げ塗り (デザインをつける場合ここから 2mm厚以上 合計 5mm 以下で御願ひ致します)
- 2) 薄く塗ると、下地メッシュテープ見える場合がありますので (水分蒸発後) 厚く御願ひします
この場合 メッシュ部分が 「モコと盛り上がる場合があります」

#乾燥

- ・完全乾燥には 約 1 週間かかります

#終了

8. 【仕上げ方法 一例】

仕上げ スポンジ ウェーブ

*ブラシ仕上げ（スポンジ仕上げ）

*ウェーブ仕上げ等ありますが

工業製品塗壁と違い 多くの形状難しい事ご理解ください（表面乾燥早い）



表面乾燥 1日（気温高いと早い 低いと2日間程度かかる）

完全乾燥 1週間程度かかります

9. 保管方法

・ 使用後余ったグラフェンストーン

色有の場合 余った材は固まり その後使用出来なくなります（色変わってしまう為） 使い切りになります

白はラップ密着で固まらない様数週間保管可能ですが・・・

・ 未開封品

気温 4℃以上での保管を御願い致します（直射日光下の保管NG）

漆喰 4L 缶を凍らせてはいけません 使用出来なくなります

凍った場合再度ご購入をお願いします

10. 【こんな事例】

*薄く塗ってしまい、仕上げ 0.5mm なんと塗っても パテあとが透けて見える（厚み不足）

*薄く仕上がり、メッシュ部分が厚く 平面が薄い

*入隅へメッシュテープ貼り忘れの為 その部分だけ綺麗にヒビ：

剥がしてメッシュ&再塗布または ヒビの上から厚塗りで固める

*塗膜薄く、加水過大 クロス境目 カウンター境目ひび割れ：

室内が極端に乾燥しても同様の現象あり

先を見越して 見切り等廻して置く事も策の一つになります

*コーキング策もあります

*M クロス ベニア板上へのシーラー乾燥前に塗布し、シーラーを吸ってしまう

（色が出る）

アクドメール塗布 24時間乾燥 ⇒ 対象面を含むその壁一面塗布で対処

・ パテの上から直接グラフェンストーンを塗ってしまった

パテを吸収 ライン発生 ⇒アクドメール塗布 24時間乾燥 ⇒ 対象面を含むその壁一面塗布で対処

*ジュラク壁 土壁へ市販のシーラー塗布後 作業し、アクが前面に発生⇒

アク止めには アクドメールご使用ください

*石膏ボードのマジックは吸い込みますので 取るか、アクドメール処理御願います

11. 【動画】

YOUTUBE（ユーチューブ）へ動画も用意しています。是非ご確認ください

• 攪拌

攪拌 2

石灰岩入れる バケツ攪拌

加水後攪拌



前日作成 (かくはん)

1 回目塗り

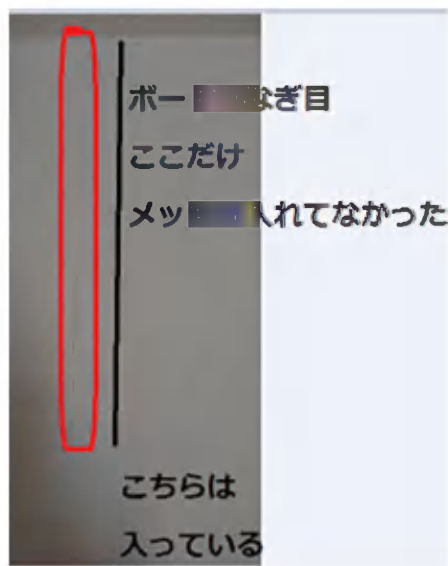
仕上げ塗り

ウェーブ仕上げ



12. メッシュ入れてなく

入れてない場所だけ割れた



2022-02 月(株)JCT

REV15 色